

4 歳児保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い（省略）

2 期のねらいと内容（9月～10月）

- 気の合う友達との関わりや遊びを十分に楽しむ。
- 身近な秋の自然に興味をもち、自分なりに関わって遊ぶことを楽しむ。
 - ・気の合う友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。
 - ・思ったことや感じたことを自分なりの言葉で伝える。
 - ・友達と一緒にいろいろな運動遊びに進んで取り組む。
 - ・虫捕りをしたり、草花の実や種を集めたりしながら、自然との触れ合いを楽しんだり、自然の不思議さに気付いたりする。

3 週のねらいと内容（10月25日～29日）

- 気の合う友達とつながりをもちながら遊びを楽しむ。
- 身近な秋の自然に興味をもち、取り入れて遊ぶことを楽しむ。
 - ・気の合う友達と誘い合って一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・自分の気持ちを友達に言葉で伝えようとしたり、友達の思いを聞こうとしたりする。
 - ・友達と一緒にいろいろな運動遊びを楽しむ。
 - ・身近な素材を使って、自分のイメージを表現しようとする。

4 本日のねらいと指導計画

ねらい

- 自分の思いや考えを伝えながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋の自然に親しみ、遊びに取り入れて楽しむ。
- 自分なりに思いを表現しながら、教師や友達と一緒に遊びを楽しむ。

時刻	予想される幼児の生活・内容	指導の要点と環境構成
8:30	<ul style="list-style-type: none"> ○登園する。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生や友達と挨拶を交わす。 ○登園時の活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の始末をする。 ○当番活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・欠席者の報告をする。 ○自ら選んだ遊びをする。 体を動かして遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこや転がしドッジボールなど、簡単なルールのある遊びを友達と関わりながら楽しむ。 ・固定遊具や乗り物などに取り組み、目標をもって挑戦したり体を動かす心地よさを味わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の幼児を温かく迎え、明るく挨拶をしたり言葉を掛けたりしながら心身の健康状態を把握するとともに、安定した気持ちで一日のスタートが切れるようにする。 ○それぞれの発達の実態に応じたきめ細かな援助を行い、できた喜びに共感しながら自分ですようとする意欲につなげる。 ○自分の興味のある遊びが十分に楽しめるように、安全面に配慮しながら見守るとともに、少し難しいことにも挑戦し頑張っている姿や見てもらいたいという思いを受け止めながら、励ましたり認めたりする。 ○友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、教師も仲間入りして状況を読み取りながらルールを確認したり相談したりしていく。

	<p>リズム遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に踊ったり、伸び伸びと表現したりすることを楽しむ。 <p>秋の自然物を使って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な秋の自然物を集めたり、取り入れて遊んだりする。 ・身近な秋の自然物を使って、様々なものを作ることを楽しむ。 <p>ごっこ遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒にアイデアを出し合いながらごっこ遊びを楽しみ、イメージを共有して遊ぶ。 ・友達同士で刺激を受け合いながら、まねて作ったり、遊びに取り入れたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師も一緒に踊りながら、曲に合わせてリズムカルに体を動かしたり、5歳児の動きをまねたりしながら表現する楽しさに共感する。 ○幼児の自発的な発想や表現を受容し、自分なりのイメージに近づいていけるように、工夫しているところを認めたり、難しいところは手助けしたりして、自分の力でできたという満足感が味わえるようにする。 ○幼児の興味や関心に合わせながら、友達と一緒に触れ合ったり遊んだりできる遊具や場などの環境を幼児と一緒に整えて構成する。 ○友達といざこざが起きたときにはそれぞれの思いを十分に受け止め、必要に応じて言葉を補ったり一緒に考えたりするようにし、自分の思いが言葉で伝わった喜びが感じられるようにするとともに相手にも思いがあることに気付いていけるようにする。 ◎好きな遊びに取り組む中で友達と関わって遊ぶことができるよう教師も一緒に楽しみ、やりとりの中で言葉を補いながら、自分で伝えられるよう促していく。
10 : 20	<ul style="list-style-type: none"> ○片付けをする。 ・片付ける場所や片付け方に気付きながら、友達と一緒に片付ける。 <p>○学級での活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を見る。 「ゆらゆらばしのうえで」 <p>○降園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降園準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師も一緒に片付けながらそれぞれを励ましたり認めたりして、きれいになった心地よさを感じられるようにする。 ◎安心して次の活動に移ることができるよう内容をあらかじめ伝え、見通しがもてるようにする。 ○動物の世界にある関係性、自然の驚異など様々な状況の中で、登場動物に生まれてくる相手を感じる気持ちを感じ取ることができるように、声の大きさや抑揚、間の取り方を意識しながら読む。 ◎他のことへ興味が向いているときには個別に言葉を掛けたり隣に座って絵本を一緒に見たりして、落ち着いて活動に参加できるようにする。 ○ゆったりした雰囲気の中で今日の生活について振り返り、友達や教師と思いを共有したり、遊びのおもしろさに興味をもったりする機会になるようにし、明日の活動への期待につなげる。
11 : 10	<ul style="list-style-type: none"> ○降園する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の生活について丁寧に保護者に伝えたり、一人一人の幼児と挨拶を交わしたりして、安定した気持ちで降園できるようにする。

評 価	<p>(幼児の育ちを捉える視点)</p> <p>○自分の思いや考えを伝え、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを味わうことができたか。</p> <p>○身近な秋の自然に興味をもったり、使って遊ぶことを楽しんだりすることができたか。</p> <p>◎自分なりに思いを表現しながら、先生や友達と一緒に遊びを楽しむことができたか。</p> <p>(自らの保育を振り返る視点)</p> <p>○幼児がそれぞれの思いを伝えながら友達と関わる姿を見守り、必要に応じた援助や言葉掛けができたか。</p> <p>○秋の自然に親しんだり、興味をもって関わったりできるような環境構成ができたか。</p> <p>◎教師も共に遊びの楽しさに共感しながら、それぞれの表現の仕方を受け止め、友達との関わりを支えることができたか。</p>
-----	--

※ ◎は特別支援学級のねらい・指導の要点と環境構成・評価